



令和7年度 学校経営方針

北九州市立藤松小学校

校長 白木 浩一

学校経営の基本方針・・・北九州市子どもまんなか教育プランの推進

教育の目標は人格の完成。仲間と豊かにかかわりながら、個に応じた適切な目標に向かって努力し達成する喜びを知り、意欲と自信を高めることは、人間の主体的成長の基盤。全職員・全児童一丸となって、元気で楽しい生き生きとした学校を作ろう！

できる喜びと自信 + 認められる喜びと安心感 ⇒ チャレンジ精神

【学校教育目標】

「心豊かに、たくましく生きる子どもの育成」 ～ 緑中校区SDGs教育の推進

元気 健やかな心と体 **根気** 確かな学力 **勇気** 強く豊かな心

〈目指す学校像〉	〈目指す児童像〉	〈目指す教師像〉
○ 元気・根気・勇気を持ち、互いに認め合い、学び合う児童が集う学校-M1 ○ 向上心を持ち、児童の高まりと喜びのために力を出し合う職員が集う学校-M4 ○ 保護者や地域に開かれ、協働して子どもを育てる学校-M5	○ 心と体が健康（しなやか）で、困難に挫けずチャレンジを続ける児童-M2 ○ 主体となって課題に気付き、自分なりに考え、進んで表現・実行する児童-M2 ○ 元気に挨拶・黙って掃除ができ、仲間と共に支え合い、高まり合う児童-M1	○ 児童を温かく見つめ、明るく優しく、時に毅然と接し、信頼される教師-M3 ○ 教育への情熱を持ち、研究・修養に努め、資質と指導力を高める教師-M3 ○ 各自の持ち味を発揮し合い、自律的・協働的に働く心身共に健康な教師集団-M4

目指そう！ 子供達の こんな姿	新しいものや見過ごしていたものに気付き、興味を持ち、夢中になって見たり探したり試したりする姿 自分の持ち味や立場、役割を自覚して、やりたいこと・やるべきことを自ら考える（選ぶ）姿 自分にできそうな目標に向かって、ためらわず、勇気を持って、くじけずにチャレンジする姿	気付き 考え 実行する
-----------------------	---	----------------------------------

〈具体的方策〉スクールプラン ⇄ 自己申告書 ⇄ 部会運営等の一貫性

1. 健やかな心と体の育成 元気	2. 確かな学力の向上 根気	3. 強く豊かな心の涵養 勇気
仲間と共に進んで運動を楽しむ児童 100% (1) 体力向上と自立・共生を意識した授業・行事等の工夫（体力向上プログラム） ・できて楽しい体育科授業（専科）の実践（体育すきっチャプログラム） ・新体力テストチャレンジの機会設定 ・体育的行事～運動会、なわとび集会 ・始業前・休み時間の運動遊び奨励 (2) 個に応じた目標設定と継続実践を通じた望ましい生活習慣の定着 ・体育科保健学習⇄運動領域⇄学級活動 ・食育・保健指導・生活がんばりカード ・養護・栄養教諭、GTの専門性の活用 (3) 生命（いのち）の安全教育の推進 ・避難訓練（防災教育プログラムの活用） ・防犯教室、交通安全教室等 ・施設・設備の安全 (4) 食物アレルギー・基礎疾患等への対応	自分なりの考えを広げ、深める児童 100% (1) 教育効果を上げる2学期制の教育課程・教科間と行事をつないだふじまつプラン (2) 学びの基盤となる学習規律の徹底 (3) 「話し合う活動」の質の向上 ・どの場面で、何を ⇒ 思考の拡充・深化 (4) GIGA 端末の活用と個別最適な学び ・クラウドを活用した個別及び協働の学び ・複線型・オープンエンドの学習展開 (5) STEAM、外国語教育の推進 ・北九州市型外国語教育ハンドブック (6) 家庭学習の充実 学年×10分 ・家庭学習チャレンジハンドブックの活用 ・自学ノートの指導と評価 (7) 教職の専門性を高める研修の充実 ・研究主題に基づく校内授業研究・発信 ・生活科公開・発表 7/4（金） ・理科公開・県大会 11/21（金）	自他のよさに気付き認め合う児童 100% (1) 気持ちのよい学習・生活環境づくり ・はきはきとあいさつができる児童 ・正しくきれいな言葉遣い ・清々しい教室・学校、環境整備の統一 (2) 人を大切にする児童の育成 ・人権の知識、感覚、実践力の育成 ・道徳的心情・判断力・実践力の涵養 ・積極的生徒指導、個に応じた不登校対策 ・学期ごとのいじめアンケートと面談 - 問題事象の早期発見・早期解決 - 被害者・加害者・傍観者にさせない (3) 役割の自覚・ソーシャルスキルの養成 ・児童会・委員会・異学年交流の工夫 ・関係校交流～保幼小中高、特支 (4) 地域を大切にする指導の工夫 ・「北九州郷土資料集」の活用 ・地域学校協働活動本部との連携



学びチャレンジ リーディングスクール研究委嘱校

問題解決を楽しむ理科・生活科学習の創造～児童も教師も楽しめる授業づくり～

4. 特別支援教育の充実	5. 開かれた学校・学級づくりの推進	6. 業務改善の推進
・個の特性に応じた適切な目標設定と支援 ・個別の指導計画に基づく家庭・機関連携 ・特別支援教育の視点に立ったユニバーサルデザインの授業・環境づくり	・緑丘中学校区学校運営協議会（国型CS） ・地域人材の積極活用 WinWinの関係 ・保幼小中高連携事業の実働実績 ・保護者や地域への情報発信・学校評価	～ 教職員の Well-Being ～ ・校務DX、時数削減 ⇒ 計画的な準備・指導と適時実行 ・備品・書類は整理整頓・廃棄・更新